



雪崩緊急点検を実施

雪崩発生の可能性が高い箇所はありませんでした

今冬は各地で記録的な積雪となっておりますが、月山国道管内でも3箇所の観測地点(湯殿山・中台・上名川)全てにおいて、警戒積雪深を超過しています。

これからの時期は気温上昇や降雪状況により、雪崩が発生しやすい状況となります。日頃から道路パトロールにて目視点検を実施していますが、雪崩対策の専門家を交えた緊急点検を管内31箇所にて実施しました。

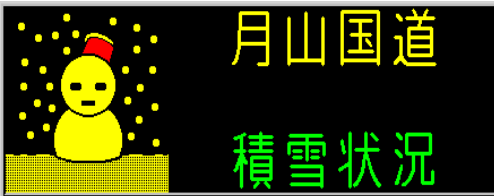
結果は雪崩発生の可能性が高い箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検や崩れた雪を貯める堆雪ポケットの確保を実施していきます。



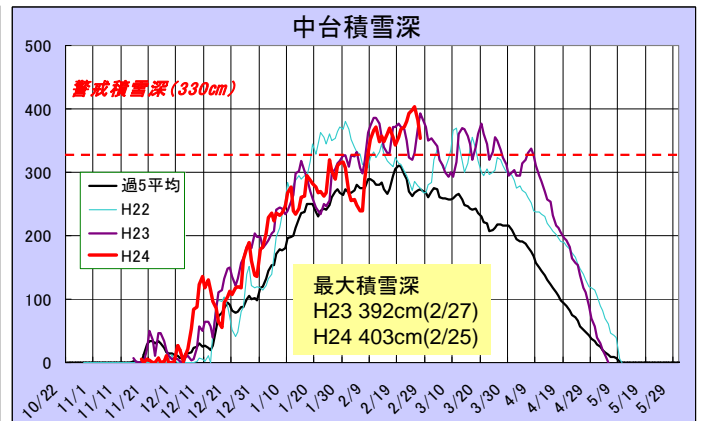
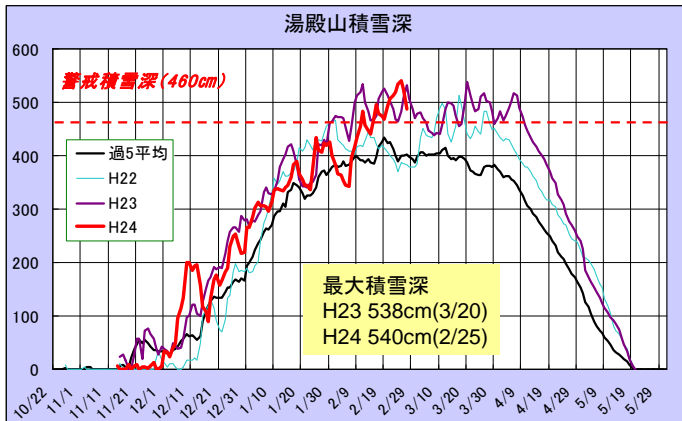
雪崩点検実施状況



堆雪ポケット確保作業



2月に入っても断続的に雪が降り、湯殿山・中台観測地点では、豪雪といわれた昨年度の最大積雪深を上回る積雪深が観測されています。湯殿山観測地点の昨年度における最大積雪深は3月20日に観測されていることから、今後も車道除雪はもちろんのこと、雪堤・雪庇処理も適切に実施していきます。



過5平均: 過去5ヶ年の平均積雪深 ※H24の最大積雪深は2月28日時点の値



雪をつかんでいる状態



雪をつかむ装置

片側交互通行規制時に、こんな光景を目にすると思います。これは、法面から落雪があった場合でも、道路へ雪が落ちてこないように、柵(フェンス)の裏側にポケットを作っています。この作業に使用する機械は、「雪庇処理車」と呼ばれ、バックホウの先端に雪をつかむ装置(ドラム缶を縦に半分にした形状)を取付けて除雪を行っています。

何をしよう？



道路利用者の皆様には、除雪作業等に伴う片側交互通行・車線減少規制等でご迷惑をおかけしております。これからの季節は、雪庇・雪堤処理、運搬排雪等の除雪作業の他、冬期間に発生したポットホール(道路の穴ぼこ)の補修作業でも規制が発生する場合があります。いずれの作業も、晴れや曇り等の気象条件が良い日に実施するため、規制箇所がこれまでより多くなる事もありますので、時間に余裕を持って走行願います。皆様のご理解・ご協力のほど、よろしく申し上げます。

交通規制に対するご協力をお願いします